



## 川床中学校教育講演会 チャレンジの先は成功か成長



12月18日、川床中学校（秦一成校長・48人）で教育講演会が開催されました。ロンドンパラリンピック（種目＝ゴールボール）で金メダルに輝いた浦田理恵さんを講師に招き、「一歩踏み出す勇気～自分が変われば世界が変わる～」をテーマに、網膜色素変性症を患つてから全盲に近い状態になるまでの苦難と、病気と向き合い、チャレンジを続けることの大切さなどの講話がありました。柏木比奈太さん（1年）は「講師の『チャレンジの先は成功か成長』とのことばが心に残った。何事も挑戦していきたい」と話しました。



## 長島町学校給食レシピコンテスト受賞作品 スペイシーな母の味を給食で

12月24日、長島町学校給食レシピコンテストで最優秀賞を受賞した畠添大志さん（鷹巣小6年・写真左）の「スペイシー・ジャガミート」が町内の学校給食で作られました。

料理は、ジャガイモとひき肉の煮込みにカレー粉でスペイスを効かせ、アクセントに粉チーズを加えることでマイルドな味わいになっています。畠添さんは「大好きな母の味で受賞できてうれしい。みんなが食べる給食なので、辛さが控えめだった。コップパンに挟んで食べたので、牛乳との相性は抜群」とにこやかに話しました。



## 町内各地で鬼火焚き 無病息災を祈つて

1月7日、町内の各集落で鬼火焚きがありました。

宮ノ浦集落では、午後3時過ぎに、集落の青壮年部などが竹やスギで組まれたやぐらに点火。火の勢いが増すごとに竹が割れる破裂音が周囲に響き渡りました。

鬼火焚きは、正月飾りを焼くことで鬼を払い、無病息災につながると言われています。青壮年部長の畠山航介さんは「みんなが集まり、楽しめる良い機会。無病息災と大漁祈願、航海安全を祈りたい」と話しました。



## 北海道の雪を満喫 北海道東神楽町ウインターランド

12月26日から29日の4日間、北海道東神楽町で、町内の5・6年生20人がウインターランドに参加しました。

これは、花の町づくりを推進している本町と東神楽町が平成26年度から青少年交流事業として実施しています。参加した児童は、長島町では見ることのない、降り積もった大自然の雪に大興奮。外は氷点下でしたが、寒さに負けず雪かきやスケートなどを体験。昨年の夏に長島町に訪れた東神楽町の児童とも再会し交流を楽しみました。